

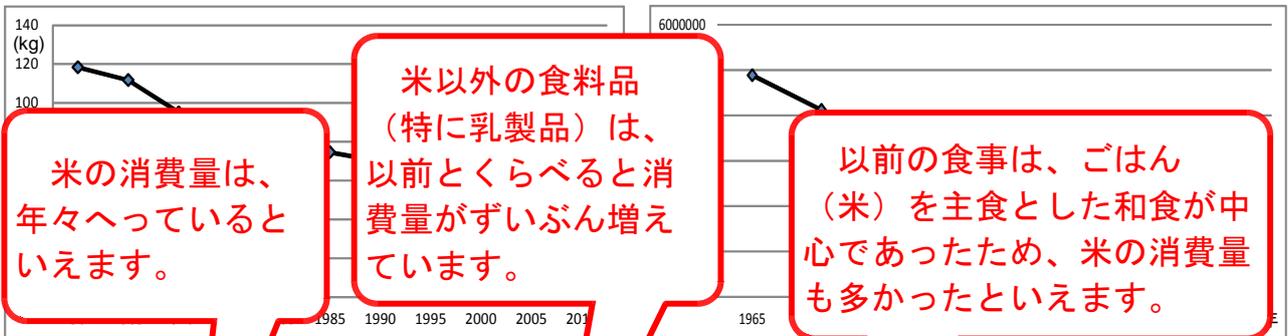
私たちの生活と食料生産	()組	氏
	()番	名

さとしさんたちのクラスでは、米作りに関する、次のような学習を行いました。

先生 **資料1**と**資料2**を見て、気づいたことはありませんか。
 さとし 日本の人たちがお米を食べる量(消費量)も、米作りの農家数もへり続けています。宮崎県も同じようにへり続けているのでしょうか。
 先生 実は宮崎県も同じ状況です。これを見て何か感じることはありませんか。
 ひろし ぼくは「ア どうして、お米を食べる量がへり続けているのだろう？」という疑問をもちました。
 さとし ぼくは「イ 米づくり農家の人たちのためにも、お米の消費量や生産量を増やすことが必要なのではないか」と思いました。
 先生 では、今日の授業では、ひろしさんやさとしさんの疑問などをもとに、宮崎県で行われている工夫や努力について、みんなで学習しましょう。

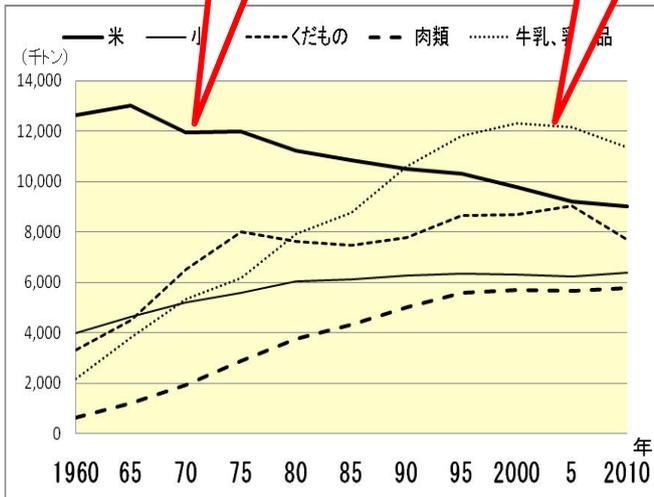
【資料1 日本の米の一人当たり年間消費量】

【資料2 日本の米づくり農家数の変化】



【資料3 食料品の年間消費量の変化】

【資料4 年代別の朝食例】



※ 資料1～資料3は、「農林水産省統計資料」より作成

(1) さとしさんたちのグループでは、会話文の**資料4**をもとに次のような予想をたてました。どのような予想を立てたのかを考えて、(さとしさんたちの予想

現在では洋食が増え、パンをはじめ、米以外のいろいろな食材が用いられるようになりました。

日本の人たちが、お米の他にも、
 (小麦(パン) やくだもの、肉類、乳製品など、いろいろなものをたくさん食べる) 資
 ようになったからではないか。

(2) 次に、さとしさんたちのグループは、会話文中の下線部イについて行われている工夫や努力について、資料4～資料8をもとに考え、下の表にまとめていきました。

資料や表をもとに、次の①から③の問いに答えましょう。

- ① 資料4・5をもとに、表の中の（ウ）にあてはまる言葉を書きましょう。
- ② 資料6をもとに、表の中の（エ）にあてはまる言葉を書きましょう。
- ③ 資料7と資料8との関係をよく考え、表の中の（オ）にあてはまる言葉を書きましょう。

表 さとしさんがノートにまとめたこと

お米の消費量や生産量を増やすために、宮崎で行われている工夫や努力	
もとにした資料	自分たちが考えたこと
資料4 資料5	（ウ 多くの人に宮崎のお米を知ってもらい、買ってもらう ） ためにポスターを作ったり、米の袋に注意をひく文字をのせたりしている。
資料6	米粉パン以外にも、米粉で作る食べ物を（エ 開発（商品化） ） 消費量や生産量をもっと増えるのではないかと考えた。
資料7 資料8	（オ 品種改良 ）が進んだので、10ア 米の収穫量がのびているのではないかと考えた。

みんなが買いたくなるようなキャッチフレーズが用いられています。

【資料4 ポスター】 【資料5 米の袋】



10aあたりの収穫量が、大きくふえていることが分かります。

【資料7 宮崎県】 【資料8 10a（アール）あたりの米の収穫量】

年	収穫量 (kg)
1960	300
1965	310
1970	340
1975	380
1980	410
1985	420
1990	430
1995	440
2000	450